



平成22年8月3日(火) 県政記者クラブ配布資料

担当課	担当	担当者	電話番号
(財)岐阜県産業経済振興センター	基金運用担当	河田	058-277-1083
商工労働部モノづくり振興課	地場産業担当	谷口	直通 058-272-8361 内線 3095

「岐阜県地域活性化ファンド事業」 平成22年度第1回募集の助成事業者が決定しました

地域が誇れる技術や地場産品、観光資源など地域資源を活用した中小企業などの取組みを支援し、地域の活性化につなげる「岐阜県地域活性化ファンド事業」の今年度第1回募集分の助成事業者が決定しましたのでお知らせします。

記

1 助成決定した主な事業(助成決定事業の詳細は別紙一覧表のとおり)

新たな商品の開発・販路拡大事業

- ・“天然素材塗り壁”の簡単施工を可能にした新機能壁材(カインドボード)の性能評価を行い、展示会に出展して販路開拓を行う事業((有)アシスト:郡上市)

地域資源を活用した新商品開発

- ・開いたときに軸が移動する「スライド式花切り鋏」を開発し、園芸用金物市場へ進出することを旨とする事業(兼松工業(株):関市)
- ・重度障がい者が視線で文字等を入力できるソフトウェアの開発を行う事業((株)ウェルテクノス:大垣市)

新たな販路開拓及びブランド構築

- ・岐阜県産の玄米を使用した玄米パスタをアメリカの見本市へ出展し、販路拡大を図る事業(小林生麺(株):岐阜市)

2 助成決定までの経過

(1)応募状況

- ・募集期間 平成22年6月7日(月)~平成22年7月6日(火)
- ・応募件数 25件

(2)審査・選定

(財)岐阜県産業経済振興センターにおいて平成22年7月26日(月)「岐阜県地域活性化ファンド審査委員会」を開催し選定

(3)助成決定件数 18件

(4)助成決定額 30,349千円

3 地域活性化ファンド事業の概要

国の(独)中小企業基盤整備機構からの無利子貸付資金などを原資に、(財)岐阜県産業経済振興センターが平成19年に創設した基金50億円の運用益により年間約9千万円の助成を行う事業です。

年間2回程度の募集を予定しており、次回の募集は平成22年12月の予定。

岐阜県地域活性化ファンド事業 平成22年度臨時募集 助成事業者一覧

事業名		事業内容	事業者名	事業開始年度
1	新商品「温度表示付き導水器具」の開発及び販路開拓	温度表示付き導水器具(蛇口・シャワー継ぎ手部)の開発と自社ホームページの開設や展示会への出展を通じて販路開拓を図る。	(有)ヤマウチ工業所 (山口市)	平成22年度
2	“天然素材塗り壁”の簡単施工を可能にした新機能性壁材(カインドボード)の性能評価と販路開拓	特殊ボードの上に珪藻土(けいそうど)等の天然素材の仕上げ剤を塗りつけた、伸縮性を有して折り曲げても折れにくく、ひびが入りにくい等取り扱いが容易な壁材の性能評価と販路拡大を図る。	(有)アシスト (郡上市)	平成22年度
3	従業員等教育の実施による顧客サービスの向上事業	クリーニング師の育成、店頭における顧客サービス向上を目指しパート・アルバイト等社内教育訓練を図り、多店舗展開を目指す。	ソフトランドリー白馬館 (高山市)	平成22年度
4	ウェルドライン消滅金型の開発と使用指導	プラスチック射出成型において、有効な解決方法がない形成不良として発生するウェルドラインが発生しない金型を開発し、技術の商品化を図る。	FFRatio (各務原市)	平成22年度
5	岐阜農産物を使った和スイーツの製造販売	柳ヶ瀬商店街の空き店舗を活用し、どらやきに県産野菜を取り入れた「ベジどら」を中心にした和洋菓子店を展開する。	岡田さや加 (岐阜市)	平成22年度
6	「中心市街地における多世代交流施設」設置事業～高齢化もなんのその!地域が築く「魅力あるまち」の創出～	高山市中心市街地の空き店舗を活用し、子どもからお年寄りまでだれもが気軽に利用できる拠点としての多世代交流施設を設置し、地域の活性化を図る。	社会福祉法人高山市福祉協議会 (高山市)	平成22年度
7	スライド式花切り鋏の新商品開発事業	茎の繊維を潰さず引き切ることにより、生花の花咲き期間を長持ちさせることができる新商品「スライド式切り鋏」を開発し、商品化を目指す。	兼松工業(株) (関市)	平成22年度
8	半導体ひずみセンサー技術を応用した治具の拘束力モニタリングシステムの開発	半導体ひずみセンサー技術を応用した治具の拘束力モニタリングシステムの商品開発を図る。	(株)イマオコーポレーション (関市)	平成22年度
9	明日の宝もの「郡上鮎」をはじめとする「鮎」を活用した、新たな菓子類の開発	子持鮎熟れ寿しを用いた「白練りショコラ」を用いたバターサンドクッキー、自社製造の郡上鮎の焼干し粉末を用いた鮎パイやスティック菓子を開発し、「新名産品」としての商品化を目指す。	(株)泉屋物産店 (岐阜市)	平成22年度
10	特別支援学校などで使用する障がい者向けコンピュータシステム開発、販売事業	重度障がい者用の海外製パソコンは非常に高価で誰もが手に入れることができるものではないことから、安価で誰もが購入できる、視線で全て操作ができる重度障がい者用コンピュータシステムの開発を図り商品化を目指す。	(株)ウェルテクノス (大垣市)	平成22年度
11	「かみみのプロジェクト」美濃和紙の特徴を活かした現代の暮らしにあうデザイン商品の開発・販路開拓	美濃和紙加工メーカー5社がそれぞれ得意とする加工技術を使ったデザイン開発、商品開発を行い、1つのブランドを展開することにより、美濃和紙ブランドの構築を図る。	かみみの (美濃市)	平成22年度
12	岐阜県産米の玄米を使用した玄米パスタのブランド確立および海外における販路開拓	同社独自開発の生麺玄米パスタの海外市場調査を行い、その結果を踏まえて製品改良し、アメリカ主要都市のメジャースーパーに卸すことにより、Kobayashi Noodle Companyの「Brown Rice Pasta」としてのブランド確立を目指す。	小林生麺(株) (岐阜市)	平成22年度
13	和モダンな美濃焼新ブランドの確立及び販路開拓	メイド・イン・ジャパン・プロジェクト(株)の監修のもと、ブランド名やイメージに合致したパッケージやホームページ、パンフレットを作成し、和モダンな陶磁器食器の商品力や販売力を強化するためにブランドの確立を図る。	(有)不動窯 (土岐市)	平成22年度
14	地域団体商標「関の刃物」ブランド構築事業	地域団体商標「関の刃物」ブランドの構築を目指し、販路開拓のための見本市への出展や市場調査、セミナー、勉強会を開催する。	地域団体商標「関の刃物」ブランド構築事業実行委員会 (関市)	平成22年度
15	展示会出展による「美濃焼タイル」ブランドの構築	他国製品や大手企業との差別化のため、保湿タイルやクールアイルランドタイルといった環境型タイルにより「美濃焼タイル」の新規市場開拓とブランド構築を図る。	笠原町美濃焼振興協議会 (岐阜市)	平成22年度
16	「食・自然・健康」をテーマとする、西美濃地域ブランド創出事業	よもぎ、カミツレ等の薬草の他、野菜、果実等、西美濃の地域資源を活用して開発された商品をPRするためのモニターツアーを開催し、地域ブランドの向上を図る。	大垣商工会議所 (大垣市)	平成22年度
17	中心市街地の空き店舗を利用し、刃物工房を開設し観光客の誘客をはかる	本町商店街の空き店舗を活用し「せきの刃物」の販売所とナイフの仕組・刃付け等の体験ができる「せきの刃物工房」を設置、また、市内旅行者とタイアップした市内観光名所を含めた観光コースを「地旅」に掲載し、観光客の誘致を図る。	関商工会議所 (関市)	平成20年度 継続
18	大正文化資料の活用創出事業	2011年に大正100年を迎えるにあたり、新しい大正村として大正期の文化を保存し、全国への情報発信の拠点を目指すため、大正文化の資料整理を促進、特別展やウィンドウギャラリーの活用、グッズ商品、特産物の開発を図る。	(財)日本大正村 (恵那市)	平成20年度 継続